



呼吸器外科



診療科の特色

当科では原発性肺がんを主とした腫瘍性疾患（転移性肺腫瘍、肉腫、良性腫瘍など）、嚢胞性肺疾患（自然気胸、巨大肺嚢胞など）、縦隔腫瘍（胸腺腫、胸腺癌、神経原性腫瘍、嚢胞性疾患など）、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍（胸膜中皮腫、孤立性線維性腫瘍など）、外傷（多発肋骨骨折、胸骨骨折、肺損傷など）などを中心に診療を行っております。

手術では安全性と根治性を第一に考え行っています。低侵襲手術である、胸腔鏡下肺葉切除 + リンパ節郭清術をほぼ全例に導入、施行しています。胸腔鏡手術により、手術の負担を軽減し従来の手術法と比べ、術後の痛みや機能障害が少なく、早期に退院が可能です。常に最先端の知見を取り入れて小型の肺がん、転移性肺腫瘍、低肺機能の患者様に対しては胸腔鏡下区域切除も数多く行っています。

今年度の取組（診療体制）

高齢化に伴い、術前に心疾患や糖尿病などが問題になる患者さんもおりますが、総合病院の機能を活かし、他の診療科との連携をはかりながら集学的治療を行っております。また入院中はクリニカルパス（入院中に行う標準的治療・処置・検査等を記載したスケジュール表）を導入し、診療の標準化と合理化、患者さんの満足度の向上に努めています。

治療を行う際には術前に詳細な説明を行い、患者さんにご家族に治療の目的・方法・効果・危険性を十分に理解していただけるように心掛けています。病状によっては手術だけでなく、抗癌剤治療・放射線治療を加えた集学的治療が必要になることもあり、このような場合は呼吸器内科・放射線治療科・病理診断科と連携し、エビデンスに基づく治療を行っていきます。

実績情報

年間約 80 例以上（うち原発性肺癌が約 30 例）の呼吸器外科手術を行っており、胸腔鏡手術から拡大手術まで幅広く対応しております。当院は日本呼吸器外科学会の認定施設（専門研修連携施設）となっております。

昨年度総括

コロナ禍の影響で外来受診控えがあり、自然気胸の手術が減少しましたが、それ以外の疾患はほぼ例年通りの手術件数でした。

今年度の取組（診療体制）

今年度より呼吸器外科医員が増員となり 3 名体制になりました。新たに新設された呼吸器腫瘍内科との連携を図り手術適応、治療方針等について週 1 回のカンファレンスで検討を行っております。



呼吸器外科



医師紹介



科長
稲田 秀洋 (いなだ ひでひろ)

[取得資格等]
 ・呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医
 ・日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医
 ・日本外科学会 専門医
 ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
 ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
 医師の臨床研修に係る指導医講習会修了
 ・検診マンモグラフィー読影認定医

診療顧問
 (情報管理特任副院長
 兼 情報管理部部長
 兼 総合診療科診療顧問)
 長谷川 剛
 (はせがわ つよし)



[取得資格等]
 ・呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医
 ・日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医
 ・日本外科学会 専門医

医員
 米山 礼美
 (よねやま れみ)



[取得資格等]
 ・日本外科学会 外科専門医
 ・厚生労働省 がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会修了
 医師の臨床研修に係る指導医講習会修了

医員
 浅見 桃子
 (あさみ ももこ)



[取得資格等]
 ・日本外科学会 外科専門医
 ・厚生労働省 がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会修了

外来担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
呼吸器外科	午前					稲田	第3週 稲田
	午後					稲田	

ご依頼・お問い合わせ

病診連携係へのご連絡 予約直通 **048-773-5941**
 当日緊急受診相談 **048-612-1444**

〈病診連携係対応時間〉 平日8:30 ~17:30 / 土曜日8:30~13:00